まだ、ここにない、出会い。
RECRUIT

2012年12月12日
株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

新生活準備調査2012

「結婚後すぐに子供が欲しい」と思う新婚カップルが増加。その意識によって、新生活の準備や将来の備えが変わる。

「結婚＝子供を含めた家族をつくる」という意識の高まりが背景にあると考えられる。

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都千代田区　代表取締役社長 鬼頭 秀彰）が運営するブライダル総研では、新婚カップルの新生活準備状況について詳細に把握するために、「新生活準備調査」を首都圏、東海 、関西の3地域で実施しました。ここに、調査結果の要旨をご報告いたします。

P3・4　＜子供への意識＞

「結婚後すぐに子供が欲しい」と思うカップルが増加。結婚する時に、子供がいる家族像を具体的にイメージしているカップルが増えている。

- ◆結婚を決めた理由において、「子供など家族が欲しかったから」が昨年より増加（11年：32.2％→12年：36.0％）。
- ◆「将来子供を持ちたい」と考えるカップルがここ3年で増加（09年：77.7％→12年：81.9％）。
- ◆1人目の子供を「結婚1年以内」に持ちたいと考えるカップルが年々増加（09年：20.9％→12年：28.3％）。

P5　＜新生活準備費用＞

子供が欲しいタイミングによって新生活の準備費用は異なる。 早め（結婚1年以内）に子供が欲しいと思うカップルは、そうでないカップル（結婚2年以上先）と比較し、費用が低くなっている。これは、子供を持つことを視野に、ライフスタイルの変化を想定し、長期的に新生活の準備を捉えているためと考えられる。

- ◆新生活準備費用の平均は、97.0万円。結婚1年以内に子供が欲しいカップルは85.6万円に対し、結婚2年以上先に子供が欲しいカップルは101.6万円と16.0万円の差がある。

P6～8　＜将来への備え＞

早め（結婚1年以内）に子供が欲しいと思うカップルは、結婚を機に貯蓄を始める割合が高く、その貯蓄金額も多くなる。将来に備え、長期的な視点で新生活を始めていることがうかがえる。

- ◆結婚1年以内に子供が欲しいと考えるカップルの方が、結婚を機とした新たな貯蓄を始めた割合が高い。
  - 【結婚を機に新たに貯蓄を始めた】
  - 結婚1年以内に子供が欲しいカップル：63.0％／結婚2年以上先に子供が欲しいカップル：56.4％／全体：58.9％。
- ◆結婚1年以内に子供が欲しいと考えるカップルの方が、毎月定額を貯蓄している割合が高い。
  - 【毎月定額を貯蓄している】
  - 結婚1年以内に子供が欲しいカップル：48.8％／結婚2年以上先に子供が欲しいカップル：39.5％／全体：42.8％。
- ◆結婚1年以内に子供が欲しいと考えるカップルの方が、1ヵ月あたりの貯蓄金額が多い。
  - 【1ヵ月あたりの貯蓄金額】
  - 結婚1年以内に子供が欲しいカップル：平均10.1万円／結婚2年以上先に子供が欲しいカップル：平均8.5万円／全体：平均8.6万円。

◆出版・印刷物へデータを転載する際には、“新生活準備調査2012　リクルートブライダル総研調べ”と明記いただけますようお願い申し上げます。
◆「新生活準備調査2012」の詳細は、弊社『ブライダル総研』サイト(http://bridal-souken.net)より、ダウンロードいただけます。

リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにない、出会い。」を届けることを目指していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】
https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

調査概要と回答者のプロフィール

【調査概要】

【調査方法】郵送法

【調査期間】2012年5月18日～6月22日

【調査対象】2011年4月～2012年3月に結婚をした首都圏（東京・神奈川・千葉・埼玉）、東海（愛知・岐阜・三重）、関西（大阪・兵庫・京都・奈良・滋賀・和歌山）の『ゼクシィ』、『ゼクシィインテリア』読者の中から、地域ごとにランダムサンプリングし、調査票を郵送。調査票への記入は妻に依頼。

調査票発送数：2,042件　　調査票回収数：932件　　回収率：45.6％

【集計サンプル数】

計870人〔首都圏（東京・神奈川・千葉・埼玉）：301人、東海（愛知・岐阜・三重）：282人、関西（大阪・兵庫・京都・奈良・滋賀・和歌山）：287人〕

【集計対象】新生活を始めるにあたってインテリア・家具または家電製品を最低1つでも購入した『ゼクシィ』、『ゼクシィインテリア』読者。

【集計方法】＜地域別＞「現在の居住地」で集計。

＜全体集計＞各地域の婚姻件数（平成22年厚生労働省人口動態調査）に合わせてウエイトバック集計を行い、首都圏・東海・関西地域それぞれの婚姻件数に応じた全体平均（推計値）を算出（各地域の婚姻件数合計は397,581組）。

※本文中で使用している2011年以前のデータに関する調査方法、調査対象の範囲は本年と同様、集計サンプル数については下記の通りです。

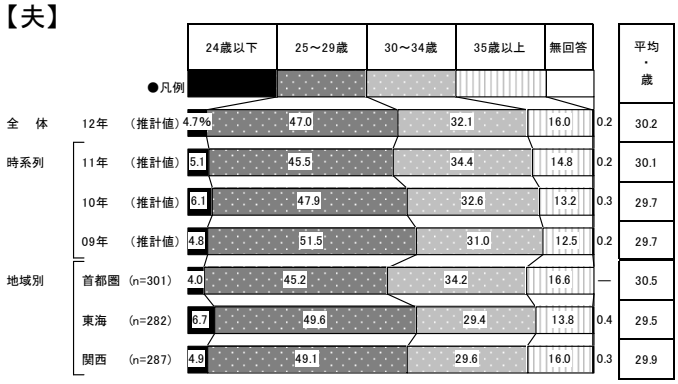
（人）

	集計サンプル数			
	計	首都圏	東海	関西
2011年調査	980	376	309	295
2010年調査	1015	376	344	295
2009年調査	881	312	263	306

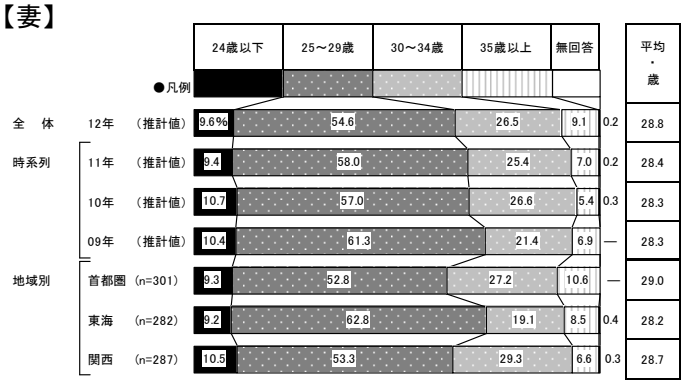
【回答者のプロフィール】

■結婚時の年齢（全体／単一回答）

【夫】



【妻】



■結婚前の居住地（全体／単一回答）

【夫】

（%）

		全体	地域別		
		12年（推計値）	首都圏 (n=301)	東海 (n=282)	関西 (n=287)
首都圏・計		53.8	96.7	0.7	1.0
	東京	22.5	40.9	—	—
	神奈川	11.1	19.6	0.7	0.7
	千葉	10.2	18.3	—	0.3
	埼玉	9.9	17.9	—	—
東海・計		15.7	—	95.0	1.0
	愛知	11.8	—	71.3	0.7
	岐阜	2.4	—	14.9	—
	三重	1.5	—	8.9	0.3
関西・計		28.1	1.3	1.8	94.8
	大阪	14.6	1.0	1.1	48.4
	兵庫	7.1	0.3	0.4	24.0
	京都	2.7	—	—	9.4
	奈良	1.9	—	0.4	6.3
	滋賀	1.3	—	—	4.5
	和歌山	0.6	—	—	2.1
その他の地域		2.0	1.7	2.1	2.4
無回答		0.4	0.3	0.4	0.7

【妻】

（%）

		全体	地域別		
		12年（推計値）	首都圏 (n=301)	東海 (n=282)	関西 (n=287)
首都圏・計		51.3	91.0	2.5	2.4
	東京	21.7	38.2	1.4	1.4
	神奈川	9.7	17.3	0.4	0.3
	千葉	9.9	17.6	0.7	0.3
	埼玉	10.0	17.9	—	0.3
東海・計		14.7	0.3	88.3	0.7
	愛知	10.2	—	62.4	0.3
	岐阜	2.5	0.3	14.2	—
	三重	2.0	—	11.7	0.3
関西・計		29.3	4.0	5.0	92.0
	大阪	14.8	1.7	3.2	46.7
	兵庫	6.8	1.0	0.7	21.6
	京都	2.9	1.0	0.7	7.7
	奈良	2.1	—	—	7.3
	滋賀	1.8	—	0.4	5.9
	和歌山	1.0	0.3	—	2.8
その他の地域		4.3	4.7	3.9	3.8
無回答		0.4	—	0.4	1.0

■現在の居住地（全体／単一回答）

（%）

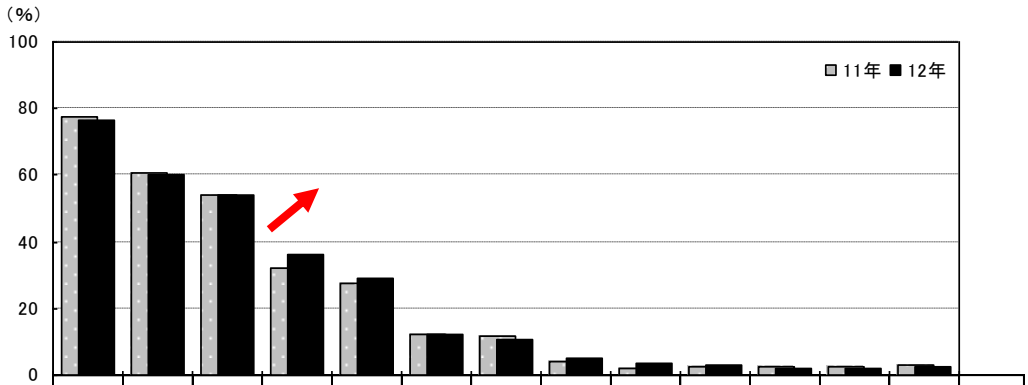
		全体	地域別		
		12年（推計値）	首都圏 (n=301)	東海 (n=282)	関西 (n=287)
首都圏・計		55.2	100.0	—	—
	東京	23.3	42.2	—	—
	神奈川	10.6	19.3	—	—
	千葉	10.3	18.6	—	—
	埼玉	11.0	19.9	—	—
東海・計		16.2	—	100.0	—
	愛知	12.1	—	74.5	—
	岐阜	2.4	—	14.5	—
	三重	1.8	—	11.0	—
関西・計		28.6	—	—	100.0
	大阪	14.4	—	—	50.2
	兵庫	7.8	—	—	27.2
	京都	2.2	—	—	7.7
	奈良	2.1	—	—	7.3
	滋賀	1.6	—	—	5.6
	和歌山	0.6	—	—	2.1

結婚を決めた理由と子供に対する意識

結婚を決めた理由は、「相手と一緒に将来を生きたかったから」が76.4%で最も高く、次いで「相手と一緒に生活をしたかったから」が60.2%、「精神的に安らぎが得られるから」が53.9%、「子供など家族が欲しかったから」が36.0%で続く。「子供など家族が欲しかったから」は11年から3.8ポイント増加している。

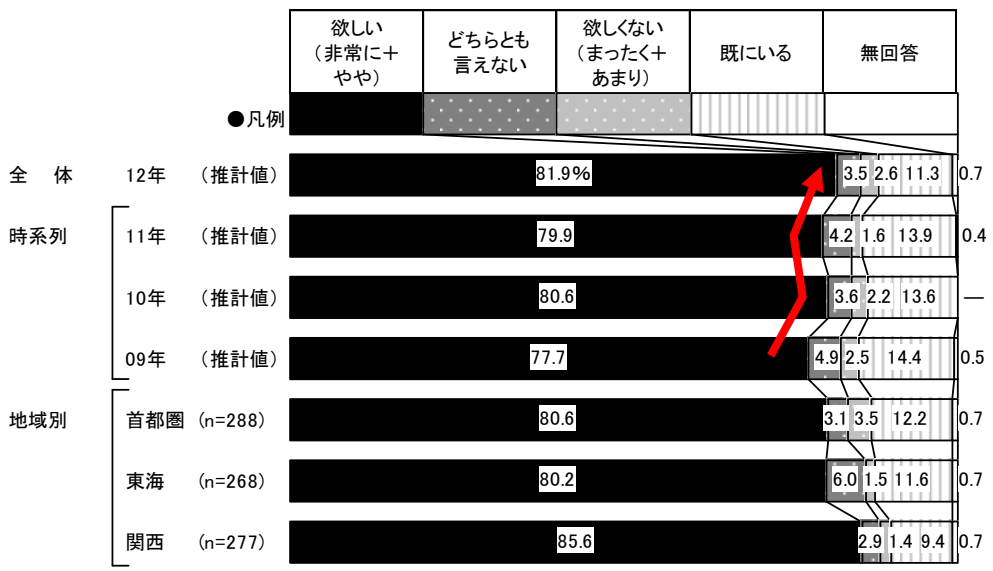
将来子供が「欲しい（非常に＋やや）」と回答した割合は81.9%で、11年にやや減少したものの年々増加傾向にあり、09年から4.2ポイント増加している。

■結婚を決めた理由（全体／複数回答）



		調査数	相手と一緒に将来を生きたかったから	相手と一緒に生活をしたかったから	精神的に安らぎが得られるから	子供など家族が欲しかったから	結婚する年齢になったから	経済的に安定するから	親が喜ぶから	するのがあたり前だから	世間体が気になったから	親・親族に勧められたから	仕事に打ち込むことができるから	子供ができたから	その他	無回答
全　体	12年（推計値）		76.4	60.2	53.9	36.0	28.9	12.4	10.5	4.9	3.4	3.3	2.0	1.9	2.6	0.1
	11年（推計値）		77.4	60.9	53.9	32.2	27.8	12.1	11.9	4.3	1.8	2.6	2.3	2.3	3.3	2.7
地域別	首都圏	301	77.1	59.8	56.8	32.9	27.9	13.0	11.0	5.0	3.7	3.3	2.3	2.0	3.0	—
	東海	282	72.0	62.1	47.2	40.8	33.7	10.6	8.9	6.4	5.0	2.8	1.1	2.8	2.8	—
	関西	287	77.7	59.9	52.3	39.4	28.2	12.2	10.5	3.8	2.1	3.5	1.7	1.0	1.7	0.3

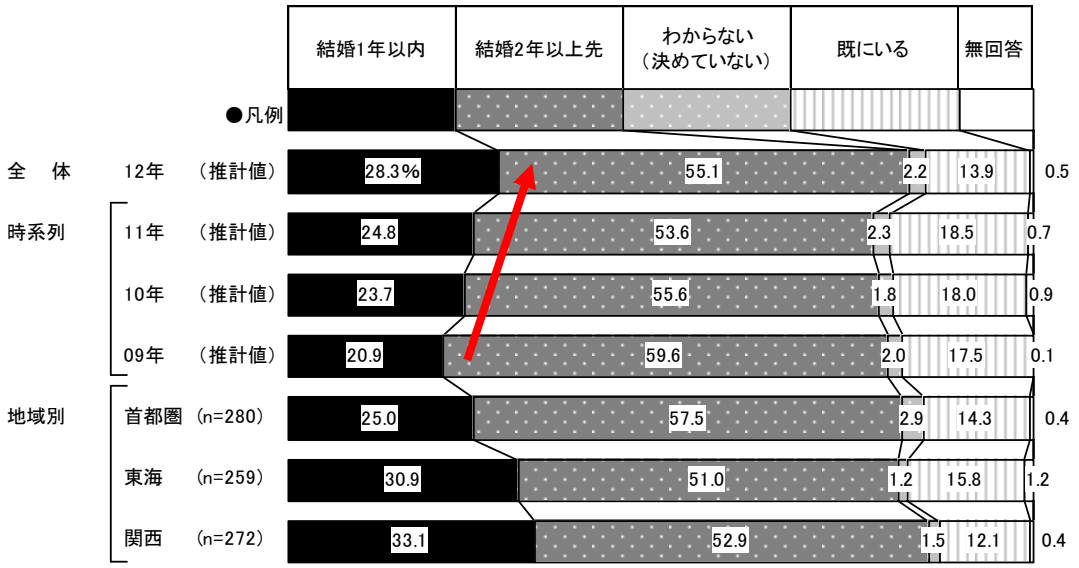
■将来子供を持ちたいか〔調査時点における回答〕（結婚を決めた当時に子供がいなかった人／単一回答）



1人目の子供が欲しい時期

1人目の子供が欲しい時期は、「結婚1年以内」が28.3%で、年々増加傾向にある。

■1人目の子供が欲しい時期（子供がいる人または子供が欲しい人／単一回答）

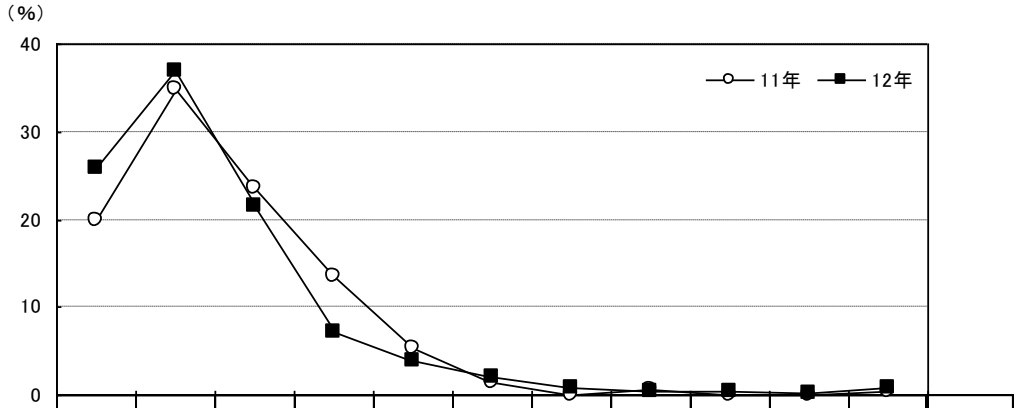


新生活準備のためにかかった費用

新生活準備のためにかかった費用の平均は97.0万円で、11年から7.5万円（7.2%）減少した。

1人目の子供が欲しい時期別に、新生活準備のためにかかった費用をみると、1人目の子供が欲しい時期が「結婚1年以内」では平均85.6万円で、「結婚2年以上先」より16.0万円少ない。

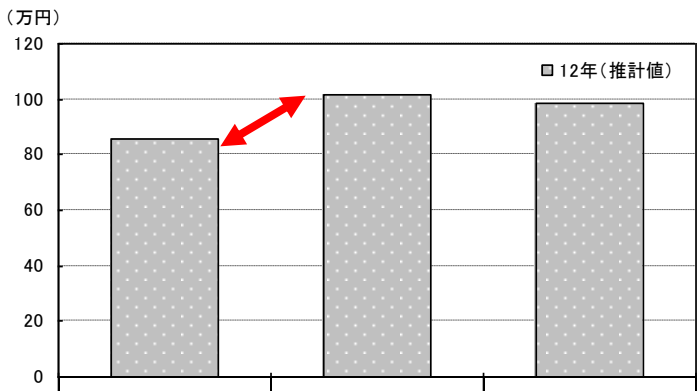
■新生活準備のためにかかった費用（金額回答者のみ）



		調査数	50万円未満	50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200～250万円未満	250～300万円未満	300～350万円未満	350～400万円未満	400～450万円未満	450～500万円未満	500万円以上	平均・万円
全　体	12年（推計値）		25.8	36.9	21.5	7.3	3.8	2.0	0.9	0.4	0.4	0.2	0.8	97.0
	11年（推計値）		20.0	34.8	23.5	13.5	5.3	1.5	0.1	0.7	—	—	0.5	104.5
	10年（推計値）		18.6	36.4	22.2	12.0	5.0	2.7	2.1	0.4	0.3	0.3	0.3	110.1
	09年（推計値）		15.6	31.5	26.9	12.0	7.0	3.5	1.8	0.6	0.6	—	0.4	118.0
地域別	首都圏	156	30.8	41.0	17.3	4.5	3.2	1.9	0.6	—	0.6	—	—	81.8
	東海	138	21.0	34.1	27.5	9.4	3.6	0.7	2.2	—	—	—	1.4	105.6
	関西	134	17.9	29.9	26.9	11.9	5.2	3.0	0.7	1.5	—	0.7	2.2	124.3

※新生活準備費用には、「インテリア・家具」「家電製品」「嫁入り道具としての着物」「嫁入り道具としてのパール」「賃貸費用／敷金・礼金」「引越し」の費用が含まれる
※「家・マンションの購入費用／頭金」は平均金額に大きく影響するため、新生活準備費用からは除外している

■1人目の子供が欲しい時期別　新生活準備のためにかかった費用（金額回答者のみ）
※1人目の子供が欲しい時期について「結婚1年以内」「結婚2年以上先」「既にいる」と回答した人のみ掲載



	結婚1年以内	結婚2年以上先	既にいる
12年（推計値）	85.6	101.6	98.4

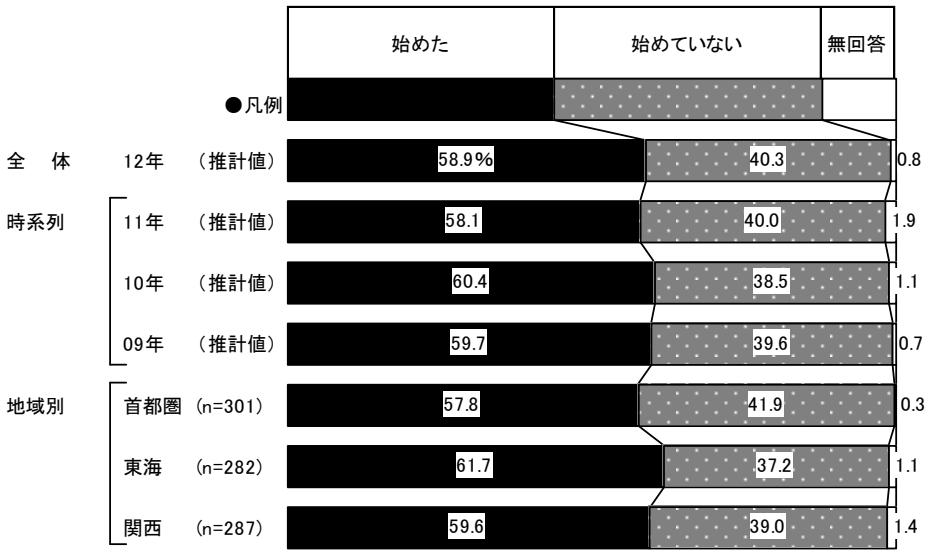
※新生活準備費用には、「インテリア・家具」「家電製品」「嫁入り道具としての着物」「嫁入り道具としてのパール」「賃貸費用／敷金・礼金」「引越し」の費用が含まれる
※「家・マンションの購入費用／頭金」は平均金額に大きく影響するため、新生活準備費用からは除外している

結婚を機とした新たな貯蓄の開始状況

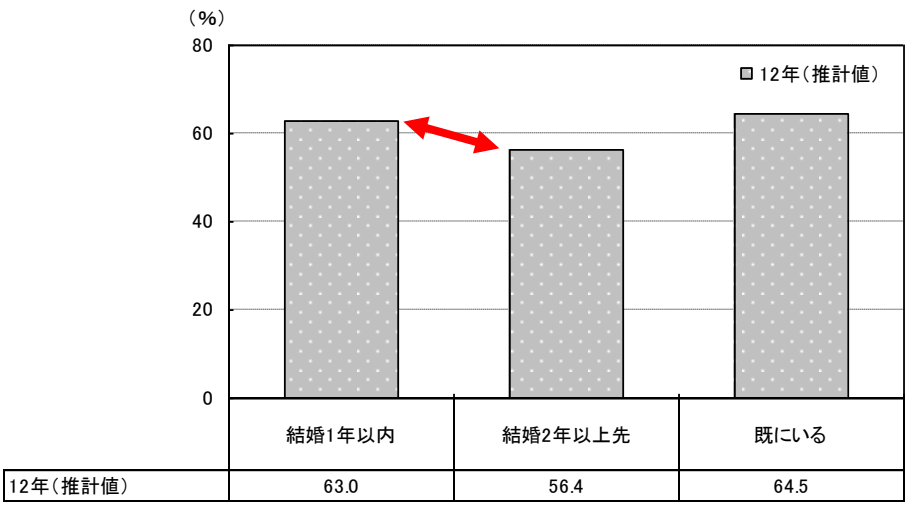
結婚を機とした新たな貯蓄の開始状況は、「始めた」人が58.9%であった。

1人目の子供が欲しい時期別に、結婚を機とした新たな貯蓄を「始めた」割合をみると、1人目の子供が欲しい時期が「結婚1年以内」では63.0%で、「結婚2年以上先」より6.6ポイント高い。

■結婚を機とした新たな貯蓄の開始状況（全体／単一回答）



■1人目の子供が欲しい時期別　結婚を機とした新たな貯蓄を「始めた」割合（全体）
※1人目の子供が欲しい時期について「結婚1年以内」「結婚2年以上先」「既にいる」と回答した人のみ掲載

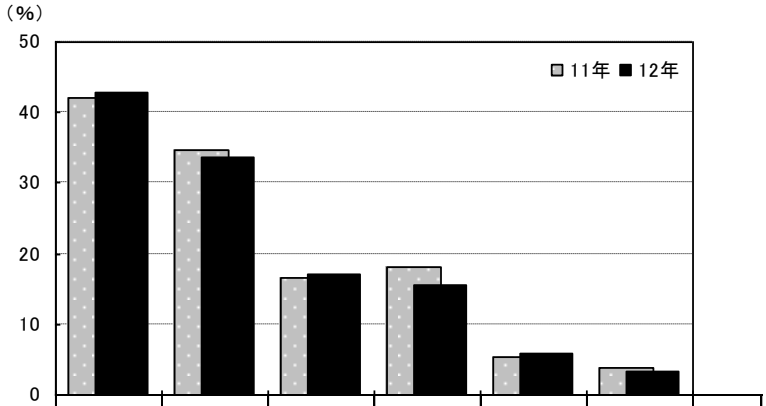


現在の貯蓄の状況

現在の貯蓄の状況は、「毎月定額を貯蓄している」が42.8%で最も高く、「毎月しているが額は決まっていない」が33.7%で続く。

1人目の子供が欲しい時期別に、「毎月定額を貯蓄している」割合をみると、1人目の子供が欲しい時期が「結婚1年以内」では48.8%で、「結婚2年以上先」より9.3ポイント高い。

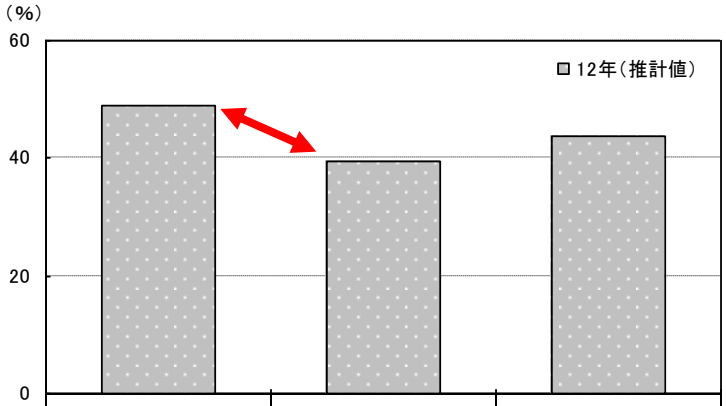
■現在の貯蓄の状況（全体／複数回答）



		調査数	毎月定額を貯蓄している	毎月しているが額は決まっていない	毎月ではないが余裕があるときに貯蓄している	ボーナスや臨時収入から貯蓄している	貯蓄していない	わからない	無回答	貯蓄している・計
全　体	12年（推計値）		42.8	33.7	17.2	15.6	5.9	3.2	0.7	90.2
	11年（推計値）		42.2	34.8	16.6	18.1	5.3	3.7	0.7	90.3
	10年（推計値）		44.0	31.7	19.2	17.4	5.7	2.6	0.3	91.4
	09年（推計値）		43.9	33.6	19.4	19.1	5.1	2.9	0.5	91.4
地域別	首都圏	301	43.2	35.5	15.3	13.6	5.3	4.0	0.7	90.0
	東海	282	43.3	33.0	18.8	16.0	6.4	2.1	0.4	91.1
	関西	287	41.8	30.7	19.9	19.2	6.6	2.4	1.0	89.9

※「貯蓄している・計」:「毎月定額を貯蓄している」「毎月しているが額は決まっていない」「毎月ではないが余裕があるときに貯蓄している」「ボーナスや臨時収入から貯蓄している」のいずれかを回答した人を集計

■1人目の子供が欲しい時期別 「毎月定額を貯蓄している」割合（全体）
※1人目の子供が欲しい時期について「結婚1年以内」「結婚2年以上先」「既にいる」と回答した人のみ掲載



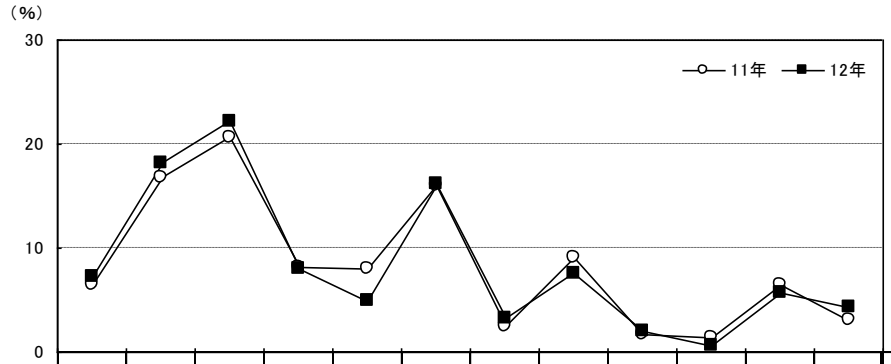
	結婚1年以内	結婚2年以上先	既にいる
12年（推計値）	48.8	39.5	43.7

1ヵ月あたりの貯蓄金額

1ヵ月あたりの貯蓄金額の平均は8.6万円であった。

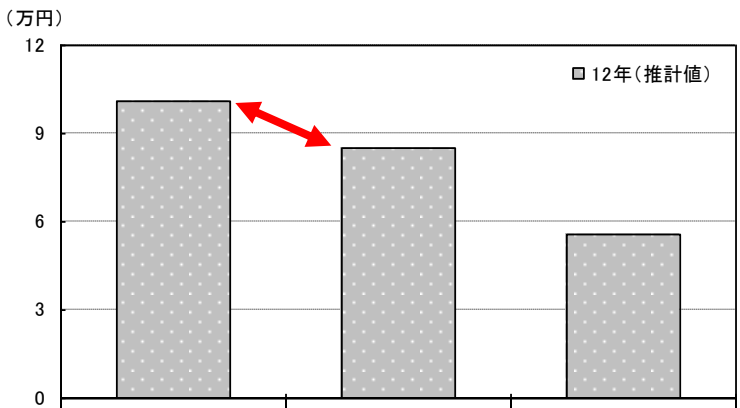
1人目の子供が欲しい時期別に、1ヵ月あたりの貯蓄金額をみると、1人目の子供が欲しい時期が「結婚1年以内」では平均10.1万円で、「結婚2年以上先」より1.6万円多い。

■1ヵ月あたりの貯蓄金額（現在貯蓄している人のうち、金額回答者のみ／単一回答）



		調査数	2万円未満（0を含む）	2～4万円未満	4～6万円未満	6～8万円未満	8～10万円未満	10～12万円未満	12～14万円未満	14～16万円未満	16～18万円未満	18～20万円未満	20～22万円未満	22万円以上	平均・万円
全　体	12年（推計値）		7.2	18.2	22.2	7.9	4.9	16.2	3.2	7.5	2.1	0.6	5.7	4.3	8.6
	11年（推計値）		6.4	16.7	20.6	8.2	8.0	16.0	2.5	9.1	1.7	1.4	6.4	3.1	8.7
	10年（推計値）		7.9	17.1	21.8	8.0	6.3	17.2	2.9	7.3	0.6	1.6	7.0	2.3	8.2
	09年（推計値）		5.1	21.2	20.8	6.1	5.8	17.9	2.8	8.2	0.6	1.0	6.1	4.4	8.5
地域別	首都圏	218	6.9	17.0	24.3	7.3	3.7	17.4	4.6	6.9	2.3	—	4.6	5.0	8.7
	東海	213	5.6	20.2	17.4	9.4	7.5	14.1	3.3	5.6	2.3	1.4	9.9	3.3	8.8
	関西	206	8.7	19.4	20.9	8.3	5.8	15.0	0.5	9.7	1.5	1.5	5.3	3.4	8.3

■1人目の子供が欲しい時期別　1ヵ月あたりの貯蓄金額（現在貯蓄している人のうち、金額回答者のみ）
※1人目の子供が欲しい時期について「結婚1年以内」「結婚2年以上先」「既にいる」と回答した人のみ掲載



	結婚1年以内	結婚2年以上先	既にいる
12年（推計値）	10.1	8.5	5.6